

# YCU PROFILE

公立大学法人横浜市立大学概要

# 20 21

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY



SINCE 1928

# INDEX

目次

● トップメッセージ	————	01
● 沿革	————	02
● 組織図	————	03
● 運営体制	————	05
● 学部	————	06
● 大学院	————	08
● 附属病院	————	11
● 附属機関	————	12
● アクセスマップ	————	16



# YCU PROFILE 2021



#### 校章



「大学」の文字に、3羽のカモメとアルファベットのYの字をモチーフにしたとされる校章。

#### シンボルマーク



横浜市立大学の英語表記「YOKOHAMA CITY UNIVERSITY」の頭文字と「・」を組み合わせて、のびのびと躍動し、発展していく横浜市立大学のコンセプトを4色に託して表現。

#### ロゴタイプ



横浜市立大学の英語表記の頭文字である「YCU」という呼称が広く一般に親しまれるように制作したロゴタイプ。

#### 周年ロゴマーク



創立90周年から100周年に向けて制作した周年ロゴのコンセプトは「パレット」。伸びやかな曲線と柔らかなタッチで、横浜市立大学が伝統を重んじながら、未来を大胆に自由に「描く」ことのできる大学であることを表現。

#### キャラクター「ヨッチー」



横浜市立大学金沢八景キャンパスのイチヨウ並木から生まれたイチヨウの精。創立80周年の記念企画として学生広報プロジェクトから誕生。

# MESSAGE

トップメッセージ

## 100周年とその次の100年につながる未来を見据えて

横浜市立大学にとって令和3年度は、第3期中期計画期間(6か年計画)の5年目を迎え、これまでの事業の総仕上げに向けて取り組み、令和5年度から始まる第4期中期計画を見据え、各事業・取組を確実に進めて具体的な実績を積み重ねる年であります。

また、2028年に迎える大学創立100周年に向けた大きな事業のひとつ、附属2病院・医学部等の再整備において、今年はその基本計画を進めていく年でもあります。再整備にあたりましては、今後も、横浜市立大学附属病院・医学部等が地域の皆さまの健康を支えながら、市民の安心の拠りどころになる存在であり続け、そのうえで、次代を見据えた医学・医療の新領域の開拓及び展開を推進いたします。

今後、ますます社会が予測不能で不透明な時代が予想される状況にある中、より一層プレゼンスを高めるために、法人の安定した経営基盤を確立し、市民のための大学や病院の運営を推進していくことが重要です。本学の伝統に誇りを持ち、本学の特徴である少人数による実践的で質の高い教育、世界トップレベルの研究、高度・先進的医療の提供、高度医療人材の輩出といった、強みや特色を生かしながら邁進してまいります。



IZUMI OSANAI

小山内 いづ美

理事長(2021年4月～)



MICHIKO AIHARA

相原 道子

学長(2020年4月～)

## 横浜から世界へ。

### 100周年に向けて進化し続けるYCU。

横浜市立大学は、この4年間で大規模な学部・研究科の再編・新設をはじめとする大学改革に取り組んできました。創立90周年の2018年にデータサイエンス学部を新設、翌2019年には国際総合科学部を国際教養学部、国際商学部、理学部に再編し、2020年4月にはデータサイエンス研究科を新設するとともに、横浜の中心部であるみなとみらいにサテライトキャンパスをオープンしました。

これまで、文理融合的な視点で「課題を発見、解決する力」を育んできた教育の土台に加え、新たな学部・研究科体制で、それぞれの専門分野における先端知識を獲得しそれを活用する能力を研ぎすますことにより、複雑化する社会課題に着実に対応できる人材を育成していきます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大していく中で様々な制約を受けながらも、「教育」「研究」「医療」の面で着実に本学の役割を果たしてきました。特に、新型コロナウイルス感染症の抗体調査研究では、本学が医学とデータサイエンスの両学部を有していることの強みを発揮して、インパクトのある研究成果を社会に発信しました。

これまで、名実ともに横浜とともに歩んできた横浜市立大学は、2028年に創立100周年を迎えます。伝統と革新のその先に、さらなる発展を誓い、これからも本学は教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすべく、よりよい大学づくりを進めてまいります。

# [ HISTORY ]

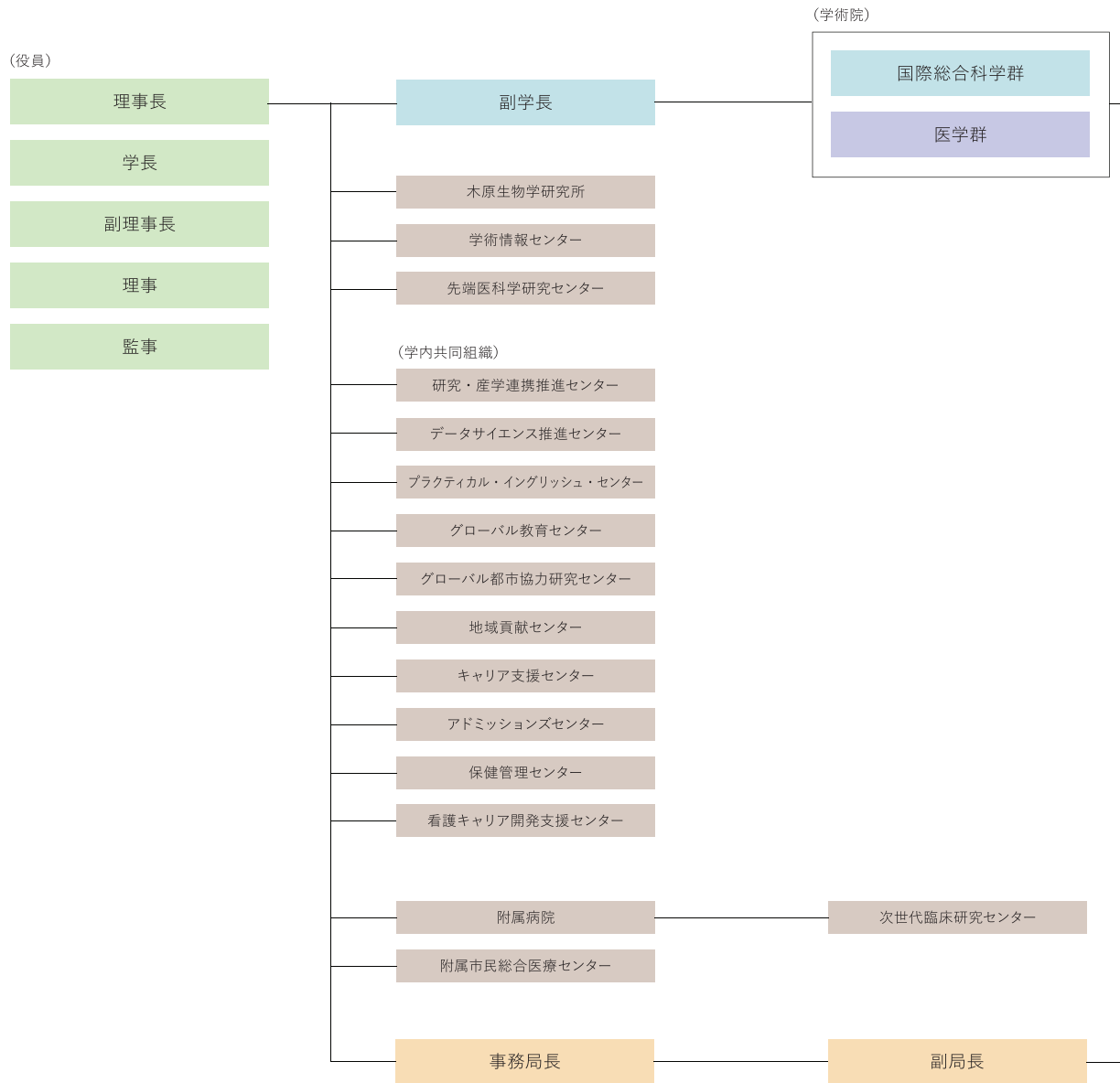
沿革

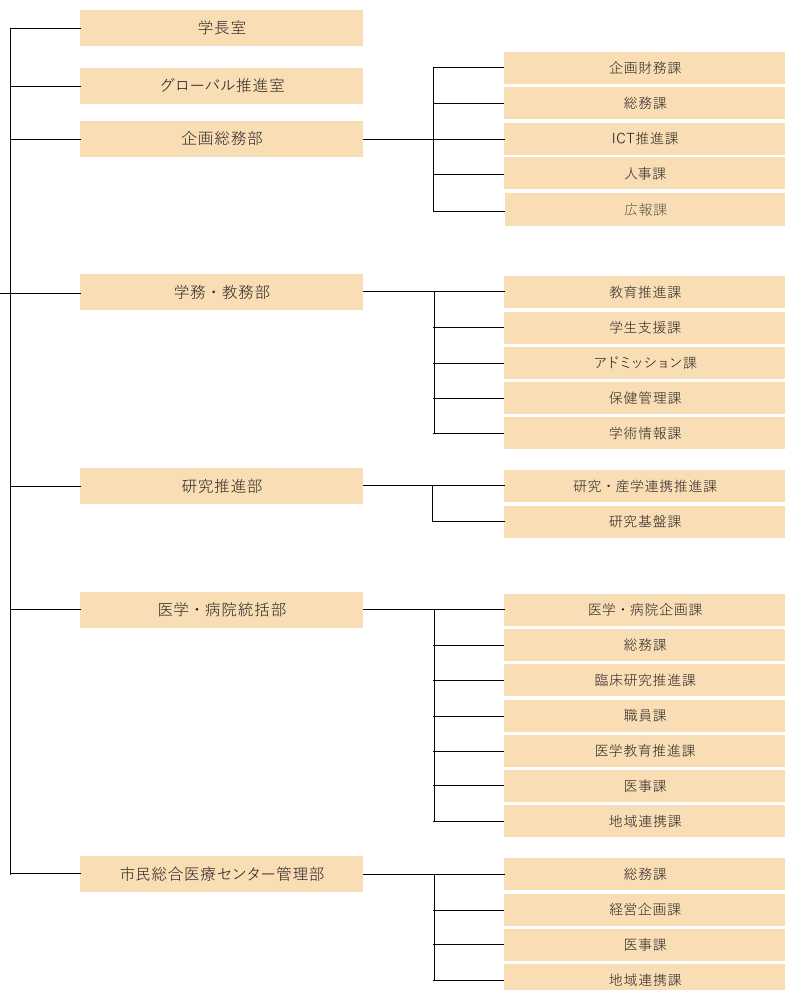
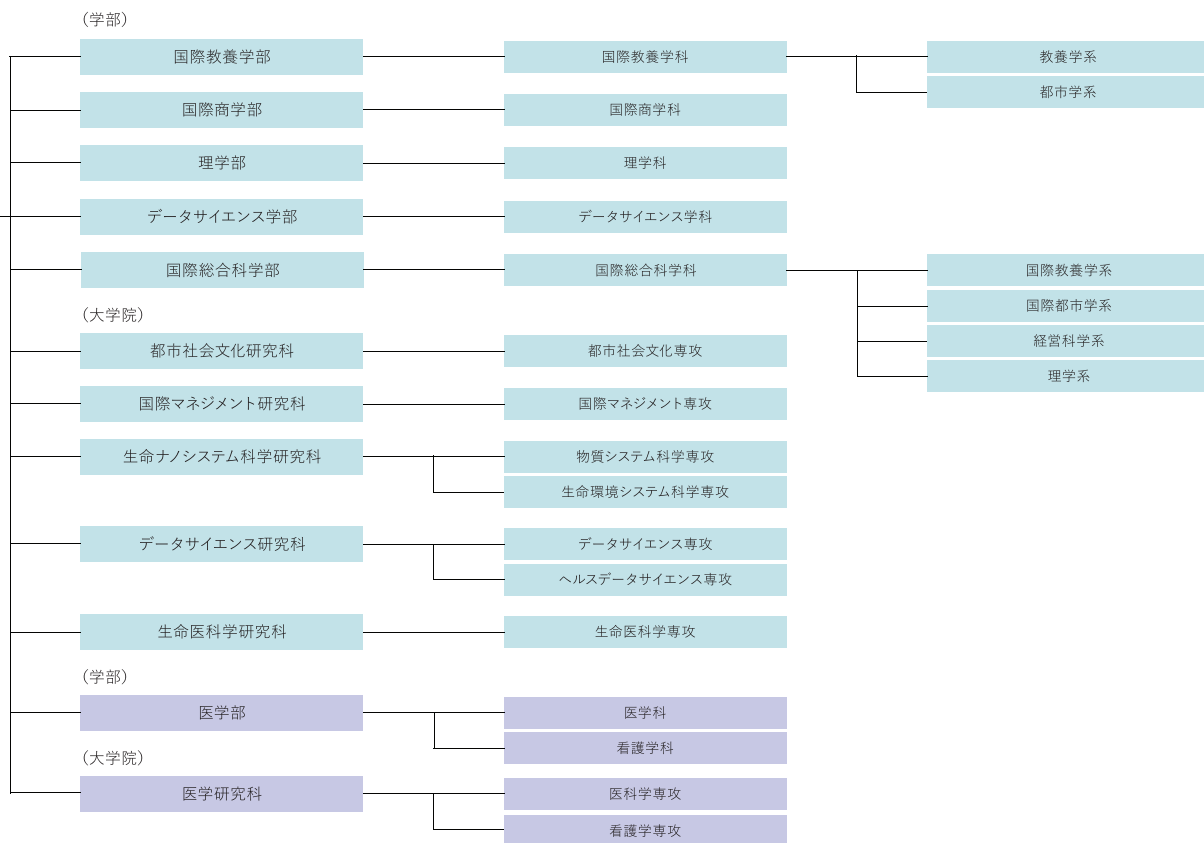
YCUの歴史には、時代を駆け抜けた人々の想いがあります。商学の発展のために、医療の発展のために、力を尽くした先人たちがいます。時代をも越える英知を持ち、懸命に時代をリードしてきた人々。わたしたちは歴史の一途をたどりながら、先人の功績に感謝し、そして世界を目指し、さらに時代の先へと向かって歩き続けます。伝統と革新のその先に、わたしたちの目指すYCUの姿があります。



# [ ORGANIZATIONAL CHART ]

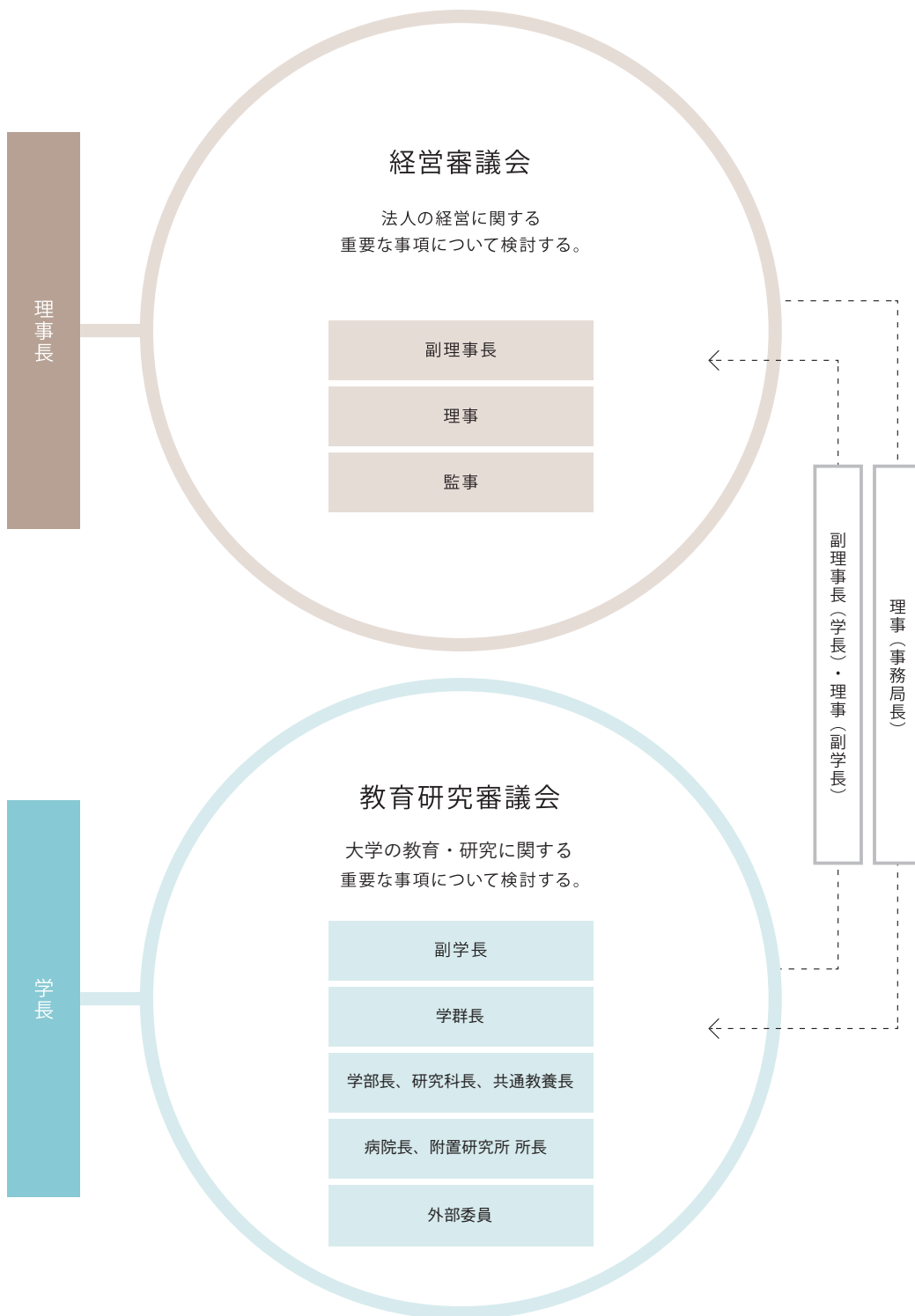
## 組織図





# ORGANIZATIONAL STRUCTURE

運営体制



## 認証評価

平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による認証評価を受審し、「横浜市立大学は、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を受けました。





# UNDERGRADUATE SCHOOLS

学部

## 国際教養学部

国際教養学部は、豊かな教養と高い思考力、外国語運用能力と課題解決に向けた実践的な力を養う教育を展開します。それにより多文化共生社会の実現や世界規模の課題、現代のさまざまな都市における諸問題の解決に貢献できる人材を育成します。教養教育と専門教育の融合をベースに、社会・文化・人間を学問の柱として、自らの主体的な学びにより身に付けたそれぞれの専門的な知見を社会に還元していくために必要な実践的な力を国連、JICA、海外・国内の大学、自治体などでのフィールドワークや共同研究を通して学びます。また、発表や討論の機会を多く積み、高度な英語運用能力を鍛えることで、実践において必須となるコミュニケーション能力に磨きをかけ、グローバル時代の未来を切り開く力を養います。



## 国際商学部

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性に基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶとともに、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的な思考を養い、数理解理解やデータ分析力などを生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的な専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な実践を通じて、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。



## 理学部

理学部は、自然科学の基礎である物理学・化学・生物学・地学を全般的に学び、高度な専門的知識・技術を身に付けることで、物質科学の概念を踏まえて細胞・個体スケールの生命現象をとらえることができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物質科学としてとらえることができる人材の育成を目指しています。そして、理学的専門知識・技術を基に、医学・農学・工学などの連携研究にも積極的に挑戦できる人材を養成します。1年次から研究活動を行える理学部独自のプログラムや、本学大学院と密に連携した海外の大学などで研究発表、ディスカッションを行うプログラムにより、グローバルな研究マインドと実力を身に付けることに力を入れています。



## データサイエンス学部

データサイエンス学部は、IoTの活用によって日々膨大なデータが生まれ蓄積される社会において、これらのデータの中から新たな社会的な価値を創造できる人材を育成します。データを読み解くために必要な数理や統計の基礎知識、社会で不可欠なコミュニケーション能力、イノベーションを起こす発想力、次世代で通用するビジネス力を養い、データサイエンティストに必要な素養を身に付けた人材を輩出することを目的としています。文系、理系という枠にとらわれない柔軟な思考と発想を大切に、データが生まれる企業や官公庁といった「現場」での実践的な学びの機会を多く提供します。世界をフィールドに活躍するデータサイエンティストに必要な国際水準の英語力の修得にも力を入れています。



## 医学部 医学科・看護学科

医学部は、「地域社会や国内外で活躍できる医学・看護を担う人材育成と、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与すること」を使命として、横浜市、神奈川県 の地域医療を支えています。

医学科では、グローバル化や超高齢社会など、急激な社会構造の変化や医学・医療の分野における高度化・専門化に対応できる実践能力とリサーチマインドを持った人材を育成します。

看護学科は、国際都市横浜において、高度な教養として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持ち、未来の看護をけん引できる人材の育成に取り組んでいます。



## 国際総合科学部

国際総合科学部は、共通教養教育と専門教養教育を連携させた「実践的な高度教養教育」を実施し、課題解決に必要な幅広く高度な教養を身に付けられるよう指導しています。また、人文科学、社会科学、自然科学の選択した分野において専門性を磨くとともに、国際的視野に立ってリーダーシップを発揮できる人材の育成に努めています。2年次より国際教養学系、国際都市学系、経営科学系、理学系に分かれ、専門教養を学修することになりますが、担任制のもと実施される少人数の演習によりきめ細やかな指導が可能となり学位の質の向上につながっています。さらに、領域横断型プログラムを展開し、広範な視野を備えた人材育成を進めています。



※ 国際総合科学部は2019年4月に国際教養学部、国際商学部、理学部に再編されました。

# GRADUATE SCHOOLS

大学院

## 都市社会文化研究科 都市社会文化専攻

博士前期課程

修士(学術)

博士後期課程

博士(学術)

都市社会文化研究科は、「人間や国際社会に対する深い理解に基づき、現代都市社会の問題解決と新たな理念の創出」を目的としています。そのために、都市・地域・国際社会の課題を中心に、急速に変化する現代世界の諸問題について、人間と文化への深い理解を踏まえて実践的に取り組む人間の育成を目指します。グローバル社会におけるさまざまな課題に対して領域横断的・学際的アプローチによって取り組むとともに、地域社会と連携した実践的な教育プログラムの開発や社会人の積極的な受け入れも展開しています。

## 国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻

博士前期課程

修士(経営学)、修士(経済学)

博士後期課程

博士(経営学)、博士(経済学)

国際マネジメント研究科は、先行き不透明な現代社会の中で、国際ルールに精通し、これにより市場環境や制度の変化に対応していくスキルを身に付けている人材、グローバル化の中で企業全体のクオリティを高めていける人材、および海外地域の産業集積を担っていける人材の養成を目的としています。グローバル経済の中で、海外展開している企業が経営停滞の打破に向けた課題解決を学ぶ国際マネジメント教育に加え、近年注目されているサービス・ビジネスを専門的かつ科学的に研究するプログラムを提供します。これらにより常にビジネスの最先端の諸課題に対応できる人材を輩出する教育・研究機関を目指しています。

## 生命ナノシステム科学研究科

生命ナノシステム科学研究科は、「生命の持つ複雑な組織・機能を物質要素の組み合わせ(システム化)により発現すると考えるボトムアップの立場から生命システムを解明する」という理念のもと、各専攻固有の階層的研究を対象に教育研究を展開しています。国内の国立開発研究法人、民間の研究機関との連携大学院制度、国外の研究教育機関との世界的なネットワーク構築により、グローバルな視点に立った最先端の研究・教育環境を提供しています。また、社会的なキャリアの形成や次世代を担うグローバル人材の育成を目指しています。

### 生命ナノシステム科学研究科 物質システム科学専攻

博士前期課程

修士(理学)

博士後期課程

博士(理学)

物質システム科学専攻では、電子・原子・分子の視点から、実験科学(合成・計測・評価)と計算科学(計算・情報・予測)に基づき、生命現象を含めた物質システムを解明するための教育と研究を行っています。これらの研究により得られた成果を、環境・エネルギーなどの諸問題の解決に向けて応用し、社会に貢献することを目指しています。基礎科学から生まれた知識・科学技術は現在ではナノ科学として開花し、物質現象だけでなく生命現象を解き明かす計測原理や情報解析原理のイノベーションを創出しています。ナノ物質科学、光物質科学、有機物質科学、量子表面科学、物質計測科学、計算物質科学、集積情報科学、知覚情報科学をバックグラウンドとして、多彩な講義ときめ細かい研究指導を通じて、国際性と自立性を備えた高度専門家の育成を目指しています。

## ■ 生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻

博士前期課程

修士（理学）

博士後期課程

博士（理学）

生命環境システム科学専攻では、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生命を維持するシステムについて、基本設計図であるゲノムをはじめとするさまざまな生体分子の機能を理解し、生物個体の生命活動システムの基本原理、および生物集団としての遺伝子適応や遺伝子進化を知るための教育と研究を行っています。具体的には、生命の基本設計図であるゲノム生物学を基盤とし、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生体分子の構造と機能を解明します。基礎生物学、農学、薬学、生化学などをバックグラウンドとして、生体分子のネットワークとしての代謝、細胞、個体、生態系をシステムズ生物学の視点から明らかにしていきます。これらの研究により得られた成果を、食糧・健康・環境などの諸問題の解決に向けて応用し、社会に貢献することを目指しています。

## 生命医科学研究科 生命医科学専攻

博士前期課程

修士（理学）

博士後期課程

博士（理学）

生命医科学研究科では、既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学を統合することで細胞生物学を含めた先端医科学研究へ応用展開していく教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスにあり、理化学研究所との連携大学院を一層発展させるとともに、生命医科学の出口を見据えた連携をより一層広げるために本学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所へと連携を拡げた教育体制を構築しています。さらに、生命医科学研究の基盤となるさまざまな新技術の開発も推進していきます。

## データサイエンス研究科

データサイエンス研究科は、データサイエンス専攻、ヘルスデータサイエンス専攻の2つの専攻により、社会潮流の把握に基づく課題背景の理解を基盤とし、膨大なデータの分析から創出する新たな価値を社会実装することができるデータサイエンス人材を育成します。

### ■ データサイエンス専攻

博士前期課程

修士（データサイエンス）

博士後期課程

博士（データサイエンス）

データサイエンス専攻では、データサイエンスの基礎を前提に従来のデータ解析における現場の知識の重要性に対する認識不足を解消し、「実践的データサイエンス演習」(Practical Data Science; PDS)を通して、データサイエンス力の涵養を目指します。PDSを含めた体系的なカリキュラムにより、現実社会との対話を通じて、社会的意義の高い具体的課題を発見し、適切な課題解決策を提示できるデータサイエンス人材を育成します。

## ■ ヘルスデータサイエンス専攻

博士前期課程	修士(ヘルスデータサイエンス)
--------	-----------------

ヘルスデータサイエンス専攻は、ヘルス領域の専門知識を有する方が、ヘルスサービスの質向上に向けたデータサイエンス研究に取り組むための教育課程です。具体的には、Core Skillとしての研究デザイン学と生物統計学をベースに、5つの分野「Real-World Evidence Research」「Patient-Centered Outcomes Research」「Health Economics & Outcomes Research」「Evidence-Based Health Administration」「Design & Analysis of Clinical Trials」を中心とした研究を展開します。

## 医学研究科

医学研究科は、医学および諸科学の知識と技術を基礎として、より高度な学識と実践能力を培うことによって、地域社会および国際社会において活躍・貢献することのできる人材を育成するとともに、研究成果を還元することにより、社会の発展に寄与することを目的としています。医科学専攻では、グローバルな視点で活躍できる人材を育成し、基礎から応用・開発・臨床研究までシームレスに展開します。看護学専攻では、保健、医療、福祉、看護といったサービスの利用者の視点に立ち、生命と人権を尊重するとともに看護を追求する人材を育成します。

## ■ 医学研究科 医科学専攻

修士課程	修士(医科学)	博士課程	博士(医学)
------	---------	------	--------

医科学は現在、基礎研究とその臨床応用、開発研究が最も盛んな科学分野のひとつです。YCUの医科学専攻が目指すところは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を併せ持ち、理論と実践の双方から学問を探究できる姿勢を持つ医療人材の育成です。さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続け、独創性と人間性の豊かな人材の輩出を目指しています。

## ■ 医学研究科 看護学専攻

博士前期課程	修士(看護学)	博士後期課程	博士(看護学)
--------	---------	--------	---------

YCUの看護学専攻は、地域に貢献することをミッションに、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関としての歴史があります。高齢化社会の進行などにより医療、保健、福祉のあり方が大きく変容する中において、看護学における高度な専門性と研究能力に裏打ちされた実践を通じて、看護の現場を改革できる人材を育成します。また、2018年度より開設された博士後期課程では、複雑化する医療ニーズに対応できる看護理論を創造できる研究者や、CNS(専門看護師)等の高度実践看護専門職を育成できる教育者を養成する、高度な教育・研究拠点を目指します。

# [ HOSPITALS ]

## 附属病院



## 附属病院

附属病院は福浦キャンパスに医学部と共に立地し、『市民が心から頼れる病院』として、高度でかつ安全な医療を提供するとともに、『質の高い医療人を養成』することを使命としています。横浜市内唯一の「特定機能病院」であり、「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」「神奈川県エイズ治療中核拠点病院」「災害拠点病院」「赤ちゃんにやさしい病院」等の役割を担い、各診療領域で高度先進かつ総合的診療機能をもつ病院として医療を提供しています。また、地域医療連携の中核として県内医療機関との連携や、県唯一の公的医療機関附属病院として、将来の優秀な医療の担い手を育てるため、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
病床数		654床	674床	674床	674床	674床
外来患者数	年間(1日平均)	455,397人 (1,874人)	467,419人 (1,916人)	471,039人 (1,931人)	461,069人 (1,921人)	424,631人 (1,747人)
入院患者数	年間(1日平均)	204,885人 (561人)	204,581人 (560人)	203,948人 (559人)	203,845人 (557人)	191,299人 (524人)
平均在院日数		14.7日	13.6日	12.8日	12.4日	12.1日
手術件数		5,927件	6,239件	6,621件	6,696件	6,506件
病床利用率		85.8%	86.0%	85.4%	85.2%	80.1%

## 附属市民総合医療センター

附属市民総合医療センターは、1871年全国で2番目の洋式病院として仮設された市民病院を出発点とし、市民の皆さまに支援されながら、2021年に150周年を迎えます。横浜市の医療の最後の砦として、市、県や地域の医療機関と連携し、高度で先進的な医療や集学的な治療を提供しています。市内唯一の高度救命救急センターを有する三次救急医療の拠点であり、「神奈川県総合周産期母子医療センター」「神奈川県精神科救急医療基幹施設」「災害拠点病院」「地域がん診療連携拠点病院」などの政策的医療も提供しています。さらに、「地域医療支援病院」として、地域の医療機関との連携や役割分担を進めながら、横浜市の地域医療の充実に貢献しています。



年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
病床数		726床	726床	726床	726床	690床
外来患者数	年間(1日平均)	473,708人 (1,949人)	477,635人 (1,966人)	487,512人 (1,998人)	483,188人 (2,013人)	439,875人 (1,810人)
入院患者数	年間(1日平均)	234,441人 (642人)	238,599人 (654人)	238,382人 (653人)	239,222人 (654人)	209,905人 (575人)
平均在院日数		12.8日	12.4日	11.9日	11.8日	11.3日
手術件数		7,877件	8,568件	8,698件	9,052件	8,246件
病床利用率		88.5%	90.0%	89.7%	90.0%	83.3%

# [ FACILITIES ]

附属機関



## 木原生物学研究所

(昭和59年度設立)

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、コムギなどの高等植物に関する遺伝学や進化学の偉大な業績でゲノムの概念を世界に先駆けて提唱した故木原均博士が設立した研究所を源流としています。現在は大学の附置研究所として、理化学研究所や農業・食品産業技術総合研究機構、名古屋大学ITbMなどの他機関と連携し、最先端の植物研究を展開しており、コムギなどの遺伝資源を有効に活用する研究、それらのリソースをゲノム情報に置き換える研究、ゲノム情報を基に現象を解明し実社会で役立てる研究などを行っています。また、研究所の教員は本学生命ナノシステム科学研究科の専任教員を兼ねており、理学部の専門教育や大学院生の教育に携わっています。



## 鶴見キャンパス

(平成13年度設立)

鶴見キャンパスでは、生命医科学研究科および国際総合科学部理学系、理学部(2019年～)の学生が学修、研究を行っています。本キャンパスに所属する教員は、学生の指導はもちろん、生命医科学分野における世界的な研究拠点となることを目指して、研究活動に取り組んでいます。また、生命医科学研究科では、同敷地内にある理化学研究所や、教育研究の出口を見据えて産業技術総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所と連携大学院協定を締結しています。それらに所属する世界トップレベルの研究を背景にもつ研究者が客員教員として教育に参画しています。



## 学術情報センター

(平成17年度設立)

学術情報センターは、金沢八景キャンパス学術情報センターと福浦キャンパス医学情報センターの2センター、鶴見キャンパス図書室、舞岡キャンパス図書室、附属市民総合医療センター図書室の3分室で組織された学術情報の管理と運営を担う図書館です。横浜市立大学学生と教職員をはじめとして関連機関の研究者および企業従事者、地域住民による調査・研究を目的とした学術資料の提供、学修支援などを行っています。また、大学教育の一環として司書が教養科目や専門科目と連携し、レファレンスサービスや資料検索のための情報リテラシー教育も積極的に展開しています。



## 先端医科学研究センター

(平成18年度設立)

先端医科学研究センターは、がんや生活習慣病などの疾患克服を目指して、福浦キャンパスに設置された大学の附置研究所です。最新の機器を整備した各解析センターでは、ゲノム解析、セローム解析、プロテオーム解析、エピゲノム解析などの技術をもとに、創薬や治療法の開発など、基礎研究の成果を臨床に応用する橋渡し研究(トランスレーショナル・リサーチ)を推進しています。また、企業との共同研究のさらなる発展に向けて、産学連携ラガを整備し、文部科学省から共同利用・共同研究拠点の認定を受けるなど、国内有数のライフサイエンス研究拠点として、(AMED)などの数々の大規模プロジェクトにも参画し、優れた研究成果をより早く社会に還元できるよう、積極的な取組を進めています。

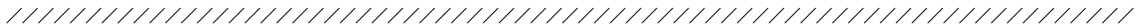
## [ FACILITIES ]



### データサイエンス推進センター

(平成29年度設立)

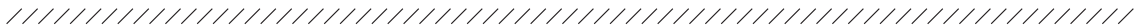
データサイエンス推進センターは、膨大なデータが蓄積されていく現代社会において、そのデータから新たな社会的価値を創出できるデータサイエンスに関する産官学連携などの社会連携、情報収集および発信を目的とし、必要な取組みを推進する全学組織です。「データ思考」に基づいた教育研究、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の方針を取りまとめるとともに、文部科学省補助事業等を活用した取組みを進めています。



### プラクティカル・イングリッシュ・センター

(平成19年度設立)

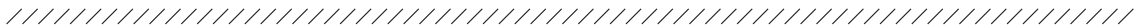
プラクティカル・イングリッシュ・センターは、学生の英語力をリベラルアーツ教育を学ぶために必要な実践的レベルまで引き上げることを目的に英語教育の充実・強化を進めています。全学生必修であり進級要件でもあるPractical EnglishやAdvanced Practical Englishの授業カリキュラムの作成と運営のほか、専任のネイティブ教員および日本人教員による個別カウンセリングやコミュニケーション・アワーの実施など、さまざまな学修支援を行っています。近年は、学部と連携して、アカデミック・ライティングやアクティブ・ラーニングのサポートも行っています。



### グローバル教育センター

(平成29年度設立)

グローバル教育センターは、本学の目指すグローバル人材育成のために、国際交流・学生交流の推進を通して学生のグローバル教育を推進することを目的に、平成29年度に設置されました。全学部長・研究科長を中心に関係教職員をメンバーとし、留学生に対する支援、学生の海外派遣プログラムや新規交流プログラムの企画に関する具体的取組について協議・決定しています。今後も、留学生受入の強化、学生海外派遣比率の増加、海外大学とのネットワーク拡充を図り、「ヨコハマから世界に羽ばたく」人材の育成を推進していきます。



### グローバル都市協力研究センター

(平成23年度設立)

グローバル都市協力研究センターは、アジアTOP大学を中心とした大学間ネットワークであるアカデミックコンソーシアム(IACSC:International Academic Consortium for Sustainable Cities)の活動を推進し、大学や都市間連携の強化、国際社会で指導的役割を果たせる「グローバル人材育成」を目的に設立されました。「環境」「まちづくり」「公衆衛生」をテーマに、横浜市立大学の強みである学術資源を集結した研究交流、学生交流を推進し、グローバルな都市課題の解決に取り組んでいます。



## 地域貢献センター

(平成21年度設立)

地域貢献センターは、学内資源と学外ニーズのマッチングをコーディネートすることを目的に設置されました。地域が求めている人材の育成、研究成果・知的資源の社会への還元などによる地域貢献を積極的に進めています。都市政策部門では、医療・子育て、環境・地域経済の活性化、まちづくりなどの課題を研究成果等により解決することや、ボランティア、地域活動のニーズ掘り起しと学生への橋渡しに取り組んでいます。生涯学習部門では、専任教員を中心とした、大学として意義のある市民公開講座を企画・実施しています。



## キャリア支援センター

(平成17年度設立)

キャリア支援センターでは、在学生一人ひとりの夢の実現をサポートするため、さまざまなキャリア・就職支援を行っています。キャリア・進路に関する相談、求人情報・OBOG情報などの閲覧はもちろんのこと、外部講師を招いての就職ガイダンスや業界研究講座、毎年200社以上の企業が参加する学内合同企業セミナー、卒業生や地元企業との懇談会の運営など、YCUならではのイベントも多く開催しています。また学生が自身の進路選択について深く考える重要な機会として、国内外の企業や官公庁等と連携のうえ、様々な国内・海外インターンシッププログラムを学生に提供しています。学生が主体的に自らのキャリアを考え、充実した学生生活を送ることができるよう、入学から卒業まで、体系的にサポートしています。



## アドミッションズセンター

(平成17年度設立)

アドミッションズセンターは、学部・大学院の入試業務を教員と連携して実施するほか、広報活動の積極的な展開と、より質の高い入学者の受け入れを目標に、多様な入学者選抜方法の充実を進めています。近年では、一般選抜の方法を見直し、特別選抜については従来からある総合型選抜・海外帰国生特別選抜・外国人留学生特別選抜・社会人特別選抜に加え、公募制学校推薦型選抜・国際バカロレア特別選抜・科学オリンピック特別選抜・医学科特別学校推薦型選抜を実施しています。また、オープンキャンパス・進学説明会・入試相談会・進学ガイダンスなどを通じ、受験生・保護者・高校教員に向けた情報発信を学内外で推進し、より質の高い志願者確保を目指しています。



## 保健管理センター

(平成4年度設立)

保健管理センターは、すべての学生と教職員に対し、医学部を有する大学であることを活かした質の高い健康管理を実施しています。定期健康診断やケガ・体調不良への応急対応のほか、感染症対策、心身の健康に関する相談に対応しています。特に、メンタルヘルスケアや障害のある学生への対応、大学組織としての安全衛生管理等の重要性を鑑み、専任の看護職・心理職などの専門職を配置し、内科・精神科などの医師による相談もを行っています。



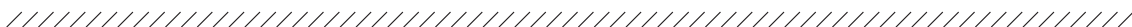
## [ FACILITIES ]



### 研究・産学連携推進センター

(平成31年度設立)

研究・産学連携推進センターは、学内の研究者の支援をワンストップで行うとともに、学外の機関との共同研究や産学連携活動における研究基盤として設立されました。国際的にも注目されている、YCUの「強み」である研究分野について、さらなる研究成果の創出と社会還元をめざした戦略的研究の推進や、若手研究者の育成による大学の基礎的研究力の強化、競争的研究資金の獲得支援のほか、研究リスクに関するマネジメントにも取り組んでいます。また、横浜市をはじめ多くの企業との産学官連携を積極的に推進し、オープンイノベーションの実現を目指しています。



### 看護キャリア開発支援センター

(平成28年度設立)

看護キャリア開発支援センターでは、学生時代から生涯にわたっての学修と成長を支援し、看護職としての専門性を高める取り組みを進めています。具体的には、看護職員の採用・確保をはじめ、附属病院、附属市民総合医療センターおよび医学部看護学科との連携による教育の充実、看護学生の実習時における実技向上のサポートに取り組んでいます。また、令和2年5月には「看護師の特定行為研修」を開講し、高い倫理観をもって、高度で先進的な医療・ケアを提供するために必要な臨床実践能力を有するジェネラリストを育成します。



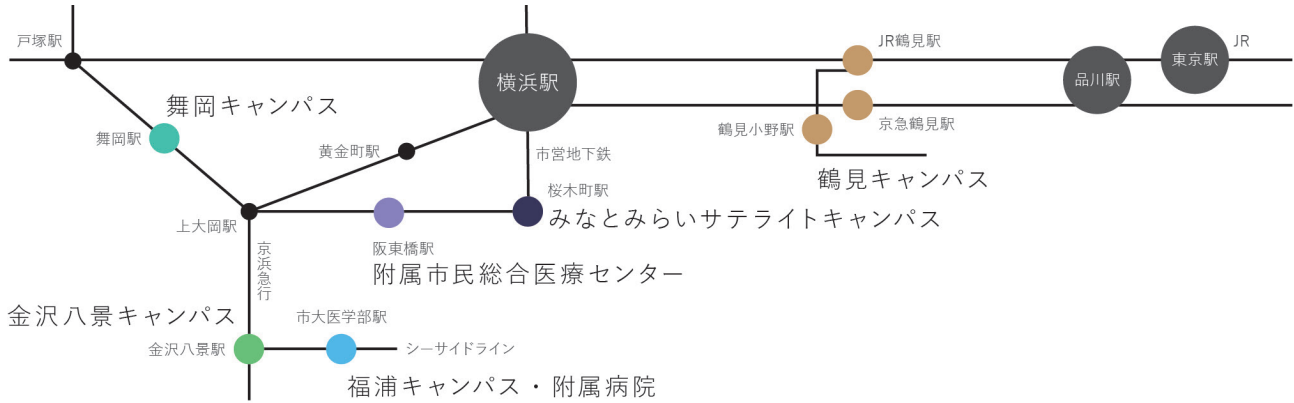
### 次世代臨床研究センター(Y-NEXT)

(平成27年度設立)

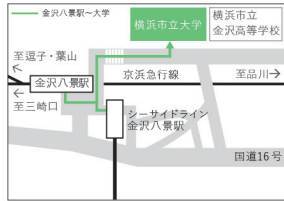
病気に苦しむ患者さんに、「次の一手」となるような最先端の治療法をお届けしたい。そんな願いから設立されたY-NEXTは、最先端の治療をいち早く患者さんに届けることを目標とした臨床研究を推進するための専門家集団です。その活動は多岐にわたり、国への承認申請や保険収載などの“出口”を見据えた新しい治療法や診断法の開発研究の立案、その適正実施の支援・監督に加え、臨床研究を志す全ての人に対して教育研修の機会を提供しています。

# [ ACCESS MAP ]

アクセスマップ



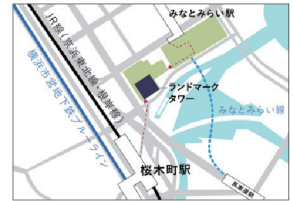
## 金沢八景キャンパス



- 国際総合科学部
- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部 (医学科・看護学科) ※1年次
- 都市社会文化研究科 (都市社会文化専攻)
- 国際マネジメント研究科 (国際マネジメント専攻)
- 生命ナノシステム科学研究科 (物質システム科学専攻) (生命環境システム科学専攻)
- データサイエンス研究科 (データサイエンス専攻) (ヘルスデータサイエンス専攻)

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2  
TEL.045-787-2311  
・京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分  
・シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

## みなとみらいサテライトキャンパス

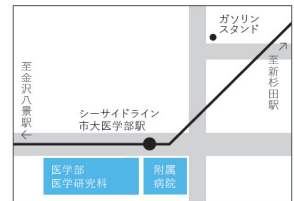


〒220-8107 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号横浜ランドマークタワー7階  
TEL.045-681-7560  
・JR・市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分  
・みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩3分

## 福浦キャンパス

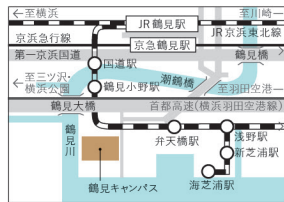


- 医学部 (医学科・看護学科)
- 医学研究科 (医科学専攻) (看護学専攻)
- 先端医学科学研究センター



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9  
福浦キャンパス TEL.045-787-2511  
附属病院 TEL.045-787-2800  
・シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

## 鶴見キャンパス



- 国際総合科学部
- 理学部
- 生命医科学研究科 (生命医科学専攻)

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29  
TEL.045-508-7201~7203  
・JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、「理研・市大大学院前」下車・JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分

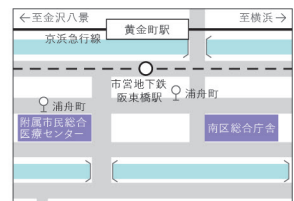
## 舞岡キャンパス (木原生物学研究所)



- 国際総合科学部
- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科 (生命環境システム科学専攻)
- 木原生物学研究所

〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12  
TEL.045-820-1900  
・市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

## 附属市民総合医療センター



〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57  
TEL.045-261-5656  
・京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分  
・市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分  
・市営バス「浦舟町」下車徒歩1分

YCU 公立大学法人  
横浜市立大学



伝統と革新の、その先へ  
1928 - 2028